歴史能力検定 第44回 (2025年)

4級─歴史基本 解答・解説

1 _2	2-3	3—4	4-3	5—(1)	
1—2		_	_		
6-2	7—①	8—④	9—①	10—③	
11—③	12—③	13—④	14—②	15—④	
16—②	17—①	18—③	19—④	20—②	
21—③	22—④	23—②	24—①	25—①	
26—④	27—①	28—④	29—①	30—④	
31—①	32—③	33—②	34—①	35—④	
36—④	37—①	38—④	39—①	40—②	
41—②	42—③	43—④	44—④	45—②	
46—①	47—②	48—③	49—④	50—④	

7

- 1. ②写真はくさび形文字。①はインダス文明、③は中国文明、④はエジプト文明で使われた文字。
- 2. ③イエスの教えをまとめたものは『新約聖書』。『旧約聖 書』はユダヤ教の教えをまとめたものである。
- 3. ④食べ終わったあとの貝殻などが捨てられた場所が貝塚となった。①埴輪は古墳時代のもの。②③弥生時代の説明。
- 4. ③邪馬台国の卑弥呼が使いを送ったのは魏。①周と④秦 は紀元前に、②隋は6世紀から7世紀に存在した。
- 5. 南蛮人はポルトガル人やスペイン人のこと。白磁は日明 貿易や日朝貿易で輸入された。
- 6. ②墾田永年私財法は奈良時代の743年に制定された。
- 7. ②鑑真がたてたのは唐招提寺。③空也は平安時代の僧。 ④末法思想が広まったのは平安時代の中頃とされる。
- 8. ①は『古今和歌集』の編者。②は『方丈記』の作者。③ は『徒然草』の作者。
- 9. ①最澄が開いたのは天台宗。②真言宗は空海が開いた。 ③臨済宗は栄西が、④曹洞宗は道元が中国から伝えた。
- 10. ①小野妹子は、遣隋使として隋にわたった。②藤原純友 は平安時代の瀬戸内地方で反乱をおこした。④阿倍仲麻呂 は奈良時代に遣唐使として唐にわたった。



11. 藤原頼通は③関白の職について、摂関政治をおこなった。 ①江戸時代の将軍の側近。②室町時代に将軍を補佐した役

- 職。④江戸幕府に臨時に設けられる最高職。
- 12. ③平等院鳳凰堂は、宇治(京都府)にたてられた。①は 平泉(岩手県)、②は日光(栃木県)、④は太宰府(福岡県)。
- 13. ④後白河上皇と平清盛が対立する中、上皇の皇子が平氏 打倒を呼びかけた。
- 14. ②源頼朝は1185年に守護と地頭を設置した。①永仁の徳 政令は北条貞時が定めた。③御成敗式目は北条泰時が定め た。④勘合貿易は室町幕府と明の間でおこなわれた。
- 15. ④法然は、念仏を唱えれば、死後は誰でも極楽浄土に行けると説いて、浄土宗を開いた。①親鸞は法然の弟子で、浄土真宗を広めた。②日蓮は日蓮宗(法華宗)を開いた。 ③一遍は時宗を開き、踊念仏による布教をおこなった。
- 16. ②フビライ=ハンは日本に朝貢を求めて使者を送ったが、 北条時宗が無視したため、元軍が日本に攻めてきた。①コ シャマインと④シャクシャインはアイヌの首長。③チンギ ス=ハンはモンゴル帝国の初代のハン。
- 17. 文永の役につづく2度目の元の襲来が①弘安の役である。
- 18. ①楠木正成、④新田義貞は後醍醐天皇とともに鎌倉幕府を滅ぼした。②坂上田村麻呂は平安時代に、征夷大将軍として朝廷の支配を東北地方北部までひろげた。
- 19. ④六波羅探題は、承久の乱の後に朝廷の監視のためにおかれた機関で、足利尊氏によってほろぼされた。
- 20. ①『方丈記』『徒然草』が書かれたのは鎌倉時代。③小林 一茶は江戸時代に俳句をよんだ。④出雲の阿国がかぶき踊 りを始めたのは安土桃山時代から江戸時代初期にかけて。

- 21. ①運送業をかねた倉庫業者。②室町時代の村でみられた 自治組織。④旗本・御家人を監視する江戸幕府の役人。
- 22. ①保元の乱と③平治の乱は平安時代末期、②承久の乱は鎌倉時代におこった。
- 23. ②コロンブスは西インド諸島のサンサルバドル島に到達した。①はバスコ・ダ・ガマの説明。③はマルコ=ポーロの説明。④はマゼランの率いた船隊のおこなったこと。
- 24. ①ドイツのルターが免罪符やカトリック教会を批判したことから宗教改革につながった。②ガリレオはイタリアの天文学者。③コペルニクスはポーランドの天文学者。④ミケランジェロはイタリアの芸術家。
- 25. ①ポルトガル人やスペイン人との南蛮貿易で日本は石見銀山(現在の島根県)から産出した銀を輸出した。
- 26. ①徳川家康は東南アジアとの貿易の際に朱印状を発行した。②刀狩や③バテレン追放令は豊臣秀吉がおこなった。
- 27. ①1575年の長篠の戦いで織田信長にやぶれたのは武田氏。 ②伊達氏は東北地方、③今川氏は東海地方、④島津氏は九 州地方をおさめた戦国大名。
- 28. ④オランダは長崎の出島にオランダ商館を移され、貿易を許された。
- 29. ①江戸時代の朝鮮との貿易は対馬藩の宗氏が担当した。 ②は琉球王国の王家。③は応仁の乱の原因となった守護大 名。④は室町時代に明と勘合貿易をおこなった守護大名。
- 30. ④『日本永代蔵』などの浮世草子を書いたのは井原西鶴。 ①本居宣長は『古事記伝』を書いた国学者。②伊能忠敬は 全国を測量し、正確な日本地図をつくった人物。③山田長 政はシャム(現在のタイ)にあった日本町の指導者。

4

- 31. ①徳川吉宗は江戸幕府の8代将軍。幕府財政を立て直そ うと、倹約令をだし、年貢を増やす政策をおこなった。② 徳川秀忠は2代将軍。③徳川家綱は4代将軍。④徳川家斉 は11代将軍で、寛政の改革のときの将軍。
- 32. ③1773年、イギリスの植民地だったボストンで発生した 抗議事件。①1914年、オーストリア皇太子夫妻がセルビア 人に暗殺された事件。②1837年、アメリカの船が日本の漂 流民を送り届け、通商を要求した事件。④1808年、イギリ ス軍艦がオランダ船をとらえるため長崎港に侵入した事件。
- 33. ②は『ポッピンを吹く女』で、喜多川歌麿は美人画に優れた作品を残した。①は東洲斎写楽『奴江戸兵衛』、③は葛飾北斎の『富嶽三十六景』。④は尾形光琳の『燕子花図屛風』。
- 34. ①印旛沼の干拓に着手したのは田沼意次。
- 35. ①ロックは『統治二論』で社会契約説を唱えた。②はマルクスの著作。③はモンテスキューの著作。
- 36. 通商を求めて根室に来航した③ラクスマンに対して、幕府は長崎で交渉するとしたため、④レザノフは長崎に来航したが、幕府は交渉を拒否した。①ゴローウニンは国後島

- に上陸して幕府に捉えられたロシア海軍士官。②シーボルトはオランダ商館の医師で、長崎で鳴滝塾を開いた。
- 37. ①清との貿易で赤字だったイギリスは、その対抗策としてインド産アヘンを密輸していた。清がアヘンの密輸を厳しく取り締まるようになると、イギリスは戦争をおこした。
- 38. ④箱館は日米和親条約で食料や燃料の補給のために開港 し、日米修好通商条約によって本格的な貿易港として開港 した。①②③は日米修好通商条約で開港するとされた。
- 39. ①大日本帝国憲法が制定されたのは1889年。
- 40. ②西南戦争は鹿児島(旧薩摩藩)の士族などがおこした。

5

- 41. ②富岡製糸場は現在の群馬県富岡市につくられた。
- 42. ③慶應義塾の創立者で『学問のすゝめ』の著者は福沢諭吉。①中江兆民はルソー『社会契約論』を翻訳した。②夏 目漱石は『坊っちゃん』などの作者。④森鷗外は小説家。
- 43. ④下関条約は日清戦争の講和条約。
- 44. **Ⅲ**下関条約の結果、台湾は清から日本にゆずりわたされた (1895年)。 **Ⅱ** 日韓併合は1910年。 **Ⅰ** シベリア出兵は1918年から1922年におこなわれた。
- 45. ②この結果、日本は中国政府の反発をまねいた。①日英 同盟を結んでいた日本は連合国側として参戦した。③講和 会議はパリで開かれた。④ヒトラーの率いるナチス・ドイ ツは第二次世界大戦中に多くのユダヤ人を殺害した。
- 46. ②の作者は岡倉天心。③の作者は本居宣長。④は滝廉太郎が作曲した唱歌。
- 47. ①明治政府が欧米列強に追いつくためにとった政策。③ スターリンがソ連の工業化を進めた計画経済。④日本で 1960年に成立した池田勇人内閣がおこなった政策。
- 48. ③満州事変のきっかけとなった、南満州鉄道の線路の爆破事件は柳条湖事件。①盧溝橋事件は、日中戦争のきっかけとなった事件。②五・一五事件は、海軍の青年将校が犬養毅首相を暗殺した事件。④二・二六事件は、陸軍の青年将校が大臣などを殺傷した事件。
- 49. ④ソ連は1941年に結んだ日ソ中立条約を破って日本に宣戦布告した。日ソ共同宣言は1956年に調印された。
- 50. 高度経済成長は1950年代半ばから1973年まで続いた。④ 1968年に日本の国民総生産は資本主義国で2位となった。 ①阪神・淡路大震災は1995年に発生した。②1993年に細川 護熙首相の非自民連立内閣が成立した。③1989年に消費税が導入された。

【写真所蔵・提供】

豊田市蔵 (1-問5) /徳川美術館所蔵 c徳川美術館イメージアーカイブ/DNPartcom (3【C】) /根津美術館所蔵 (4-問3 ④) /国立国会図書館デジタルコレクション (5-問1) /毎日新聞社提供 (5-問8) /ユニフォトプレス (1-問1・3【B】) / ColBase (https://colbase.nich.go.jp) (3【A】・【D】・問8・4-問3①②③)